

株式  
会社 **エー・アンド・ティ**  
(証券コード：7745 東証1部)

**AND**  
Discover Precision

2020年3月期  
本決算説明資料  
2020年6月10日



**X線検査機**  
**AD-4991シリーズ**

# はじめに



新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に見積もることが困難なため以下の公表を控え、未定とする

- 2021年3月期業績予想
- 中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期/ローリング方式）



**公表の見通しが立ち次第、速やかに開示**

## 新型コロナウイルス感染症に対する主な取り組み

- 従業員や取引先様の健康と安全を最優先に、第2波・第3波への予防策を実施しつつ企業活動の維持に努めています
  - テレワーク・時差通勤・web会議での業務運営
  - 手洗い・マスク着用
- 高血圧症患者への貢献を目的にBluetooth内蔵血圧計を寄贈  
※感染により、特に生活習慣病患者の致死率が高いとの情報の報道を受け、当社中国現地法人を通じて中国の医療施設 約10施設へ「UA-651BLE」を寄贈

# 新型コロナウイルス感染症の影響



## 生産面：中国・ベトナム・国内の生産体制とサプライチェーン見直しで現状維持

	2020年3月期の状況と影響	現状および対応・対策
中国	2月上旬操業停止、同中旬より順次操業再開 3月、フル稼働には至らず生産数量は予定未達	生産状況は特に問題無し ロシア・米国の状況が懸念材料
ベトナム	特段の影響は無し	一部輸入部材に問題あり、代替等で対応
韓国	工場稼働に問題は無いが受注減少	生産・出荷に問題は無い 自主策定の感染拡大防止策を徹底

## 販売面：医療・健康機器はeコマースを中心に堅調も計測・計量機器は低調推移

	2020年3月期の状況と影響	現状および対応・対策
米州	出荷業務以外、基本テレワークで対応 業務への影響はほぼ無し	医療・健康機器の需要は堅調 計量・計測機器は低調推移、顧客Lockdownの影響で計測のQ1売上予測は前年比70%程度
欧州	基本テレワークで対応も業務への影響は些少	ロシアは5月中旬より計測・計量機器も販売再開、Q1の売上は前年比80%程度 他は医療・健康機器が牽引しQ1売上は前年比10%増
アジア・オセアニア	基本テレワークで対応 インドは4月上旬まで外出禁止 韓国・インドは影響出るも他はほぼ予定通り 出社可能な地域の外部接触制限等で対応	医療・健康の売上は前期比並みを見込む 計量機器は各国のLockdownの影響でQ1売上は前年比70%程度

- 1. 2020年3月期業績の総括**
- 2. 重点施策の成果**
- 3. 2021年3月期重点課題**

# 1. 2020年3月期業績の総括

# 2020年3月期ハイライト



**米中貿易摩擦と日本における自然災害および消費増税による需要減退、  
加えて新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動の停止・縮小のなか  
対前年増収増益も売上高は計画未達、営業利益は海外子会社の経費削減  
と原価低減により計画を上回り着地**

## ■要因

- **世界経済の後退による需要減で計量機器は目標未達**
- **半導体関連は(株)ホロンの業績好調の一方で、当社の半導体製造装置メーカー向けユニットは、2019年3月期売上増の影響で売上減少**
- **DSPは期前半の受注時期ズレの影響で売上目標未達**
- **健康機器は米国・ロシアで家庭向け血圧計が堅調に推移**

# 2020年3月期業績の概況



(単位：百万円)

連 結 損 益	2019/3期 (実績)	2020/3期 (実績)	前期比	2020/3期 (修正後予想)	計画比
売 上 高	48,344	49,197	+1.8%	50,000	-1.6%
売 上 原 価	27,513	27,411	-0.4%	28,690	-4.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,079	18,085	+0.0%	18,110	-0.1%
営 業 利 益	2,751	3,700	+34.5%	3,200	+15.6%
経 常 利 益	2,683	3,432	+27.9%	2,900	+18.3%
税 引 き 前 益	2,711	3,423	+26.2%	2,885	+18.7%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,900	1,576	-17.0%	1,720	-8.3%
1 株 当 た り 利 益 ( 円 )	92.74	76.88	-17.0%	83.95	-8.3%

# 四半期別売上高および営業利益の推移



売上高は苦戦するも営業利益は着実に前年同期を上回り推移

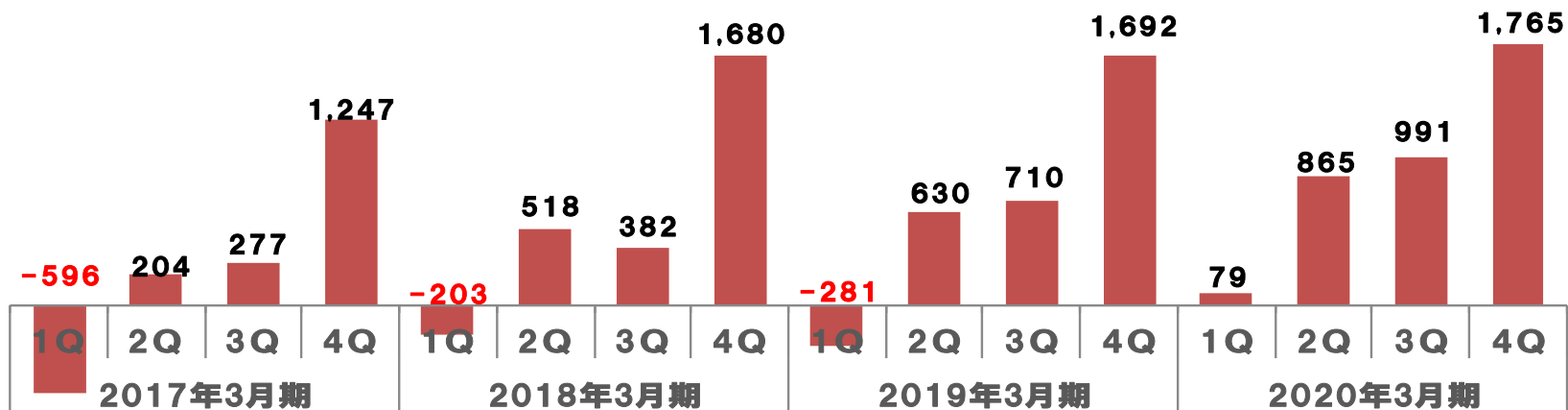
## 売上高

単位：百万円



## 営業利益

単位：百万円



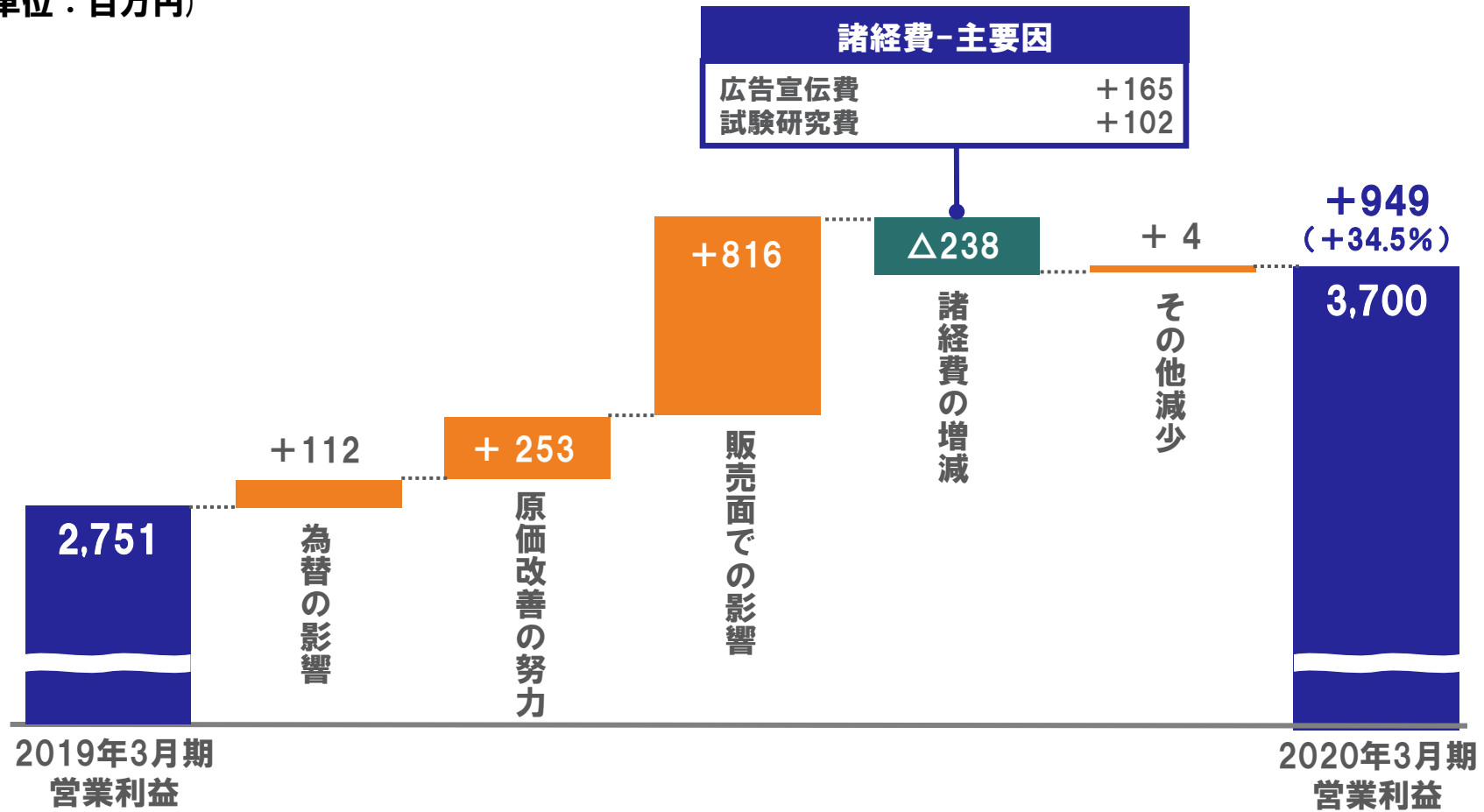


# 営業利益増減要因（前期比）



## 売上高の増加により営業利益が大幅に増加

(単位：百万円)



# 事業内容と2020年3月期売上規模



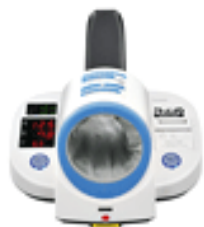
## 医療・健康機器事業

## 計測・計量機器事業



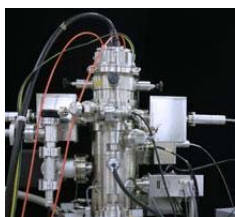
家庭用血圧計

健康機器  
151億円



全自動血圧計

医療機器  
34億円



電子銃・ビーム偏向回路

半導体関連  
56億円

計測機器  
31億円

引張・圧縮試験機



計量機器  
162億円

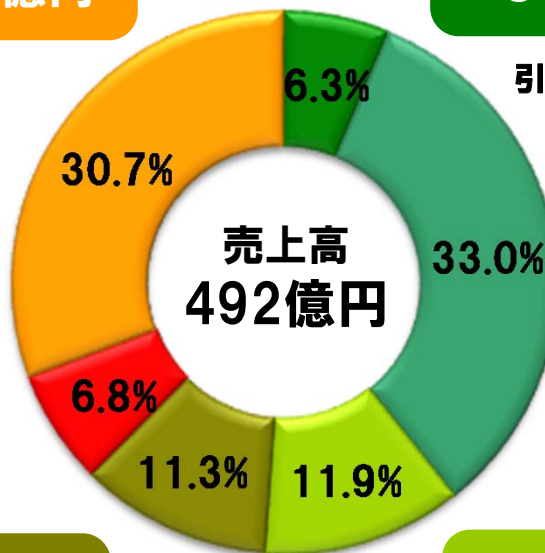
分析用電子天秤



DSP機器  
58億円



車載統合計測システム (VMS)



※DSP = 高速演算処理装置

# セグメント別業績の概要



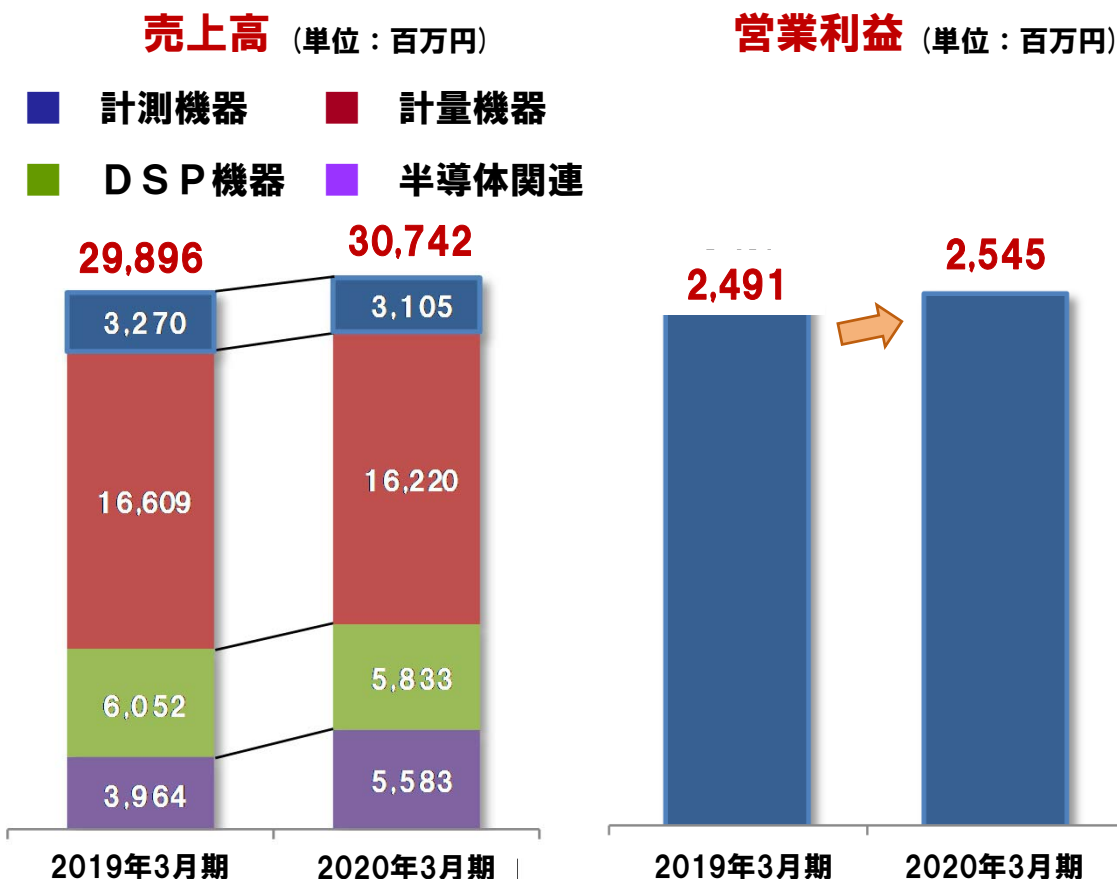
(単位：百万円)

連 結 損 益	2019/3期 (実績)	2020/3期 (実績)	前期比	2020/3期 (修正後予想)	計画比
<b>売 上 高</b>	48,344	49,197	+1.8%	50,000	-1.6%
計測・計量機器	29,896	30,742	+2.8%	31,200	-1.5%
医療・健康機器	18,448	18,455	+0.0%	18,800	-1.8%
<b>売 上 原 価</b>	27,513	27,411	-0.4%	28,690	-4.5%
計測・計量機器	17,222	17,650	+2.5%	17,950	-1.7%
医療・健康機器	10,034	10,207	+1.7%	10,740	-5.0%
<b>販 管 費</b>	18,079	18,085	+0.0%	18,110	-0.1%
計測・計量機器	10,181	10,546	+3.6%	10,440	+1.0%
医療・健康機器	6,447	6,118	-5.1%	6,170	-0.8%
<b>営 業 利 益</b>	2,751	3,700	+34.5%	3,200	+15.6%
計測・計量機器	2,491	2,545	+2.2%	2,810	-9.4%
医療・健康機器	1,965	2,129	+8.3%	1,890	+12.7%
<b>全 社 / 消 去</b>	△1,706	△975	—	△1,500	—

# 計測・計量機器事業 実績



半導体機器関連が売上の伸長を牽引、売上の増加に伴い営業利益も増加



対前年増減率	
売上高	2.8%
計測機器	-5.0%
計量機器	-2.3%
DSP機器	-3.6%
半導体関連	40.8%
営業利益	2.2%

景気減速の環境下、半導体関連以外は対前年比微減結果、事業全体では売上高・営業利益共微増

注) DSP:計測・制御・シミュレーションシステム

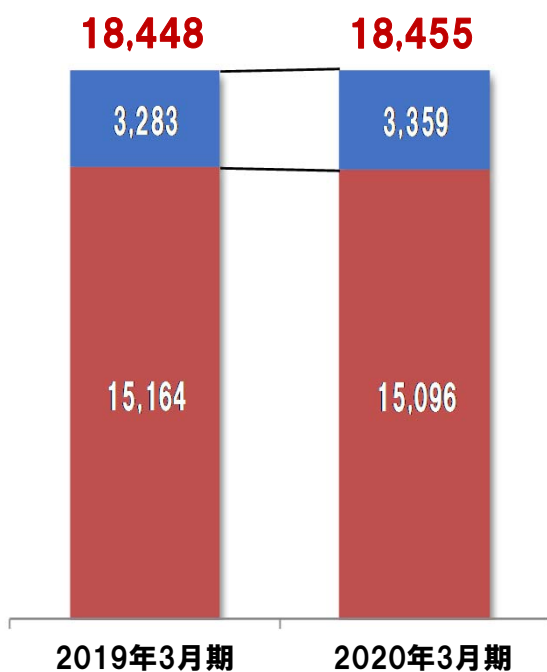
# 医療・健康機器事業 実績



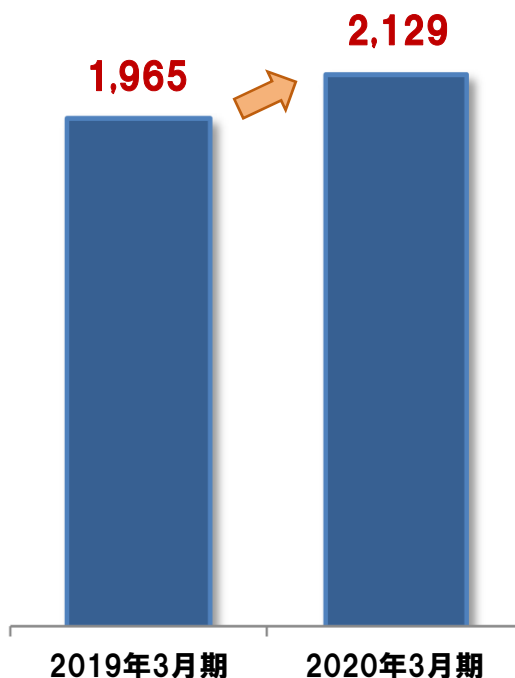
売上は横ばいに留まるも販管費削減により営業利益は増加

売上高 (単位：百万円)

■ 健康機器 ■ 医療機器



営業利益 (単位：百万円)



対前年増減率	
売上高	0.0%
医療機器	2.3%
家庭用	-0.5%
営業利益	8.3%

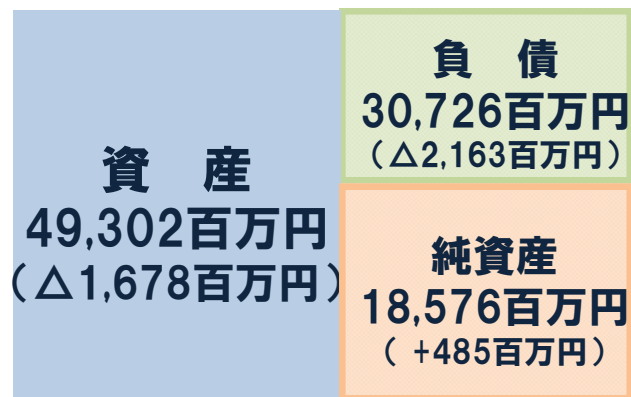
米国・ロシアで家庭向け血圧計が、カナダでは血糖計が売上増  
一方国内では活動量計・全自動血圧計を中心に売上減  
結果売上は前年並み

# 財務分析（貸借対照表）



## 財務状況

2020/3末 ※( )内は2019/3期末比

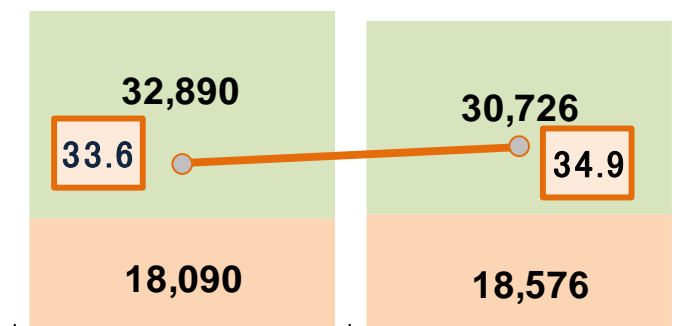


(単位:百万円)	2019/3末	2020/3末
流動資産	37,141	36,269
固定資産	13,840	13,033
資産合計	50,981	49,302
流動負債	26,794	23,869
固定負債	6,096	6,857
負債合計	32,890	30,726
純資産合計	18,090	18,576

## 負債・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)

— 純資産 — 負債 — 自己資本比率 (%)



2019年3月期末

2020年3月期末

たな卸資産の減少 △15.1億円

支払手形及び買掛金の減少 △8.9億円

その他の包括利益累計額の減少 △12.2億円  
株主資本の増加 12.9億円

# 財務分析（キャッシュフロー）



税金等調整前当期純利益の増加等により、期末現預金残高は増加

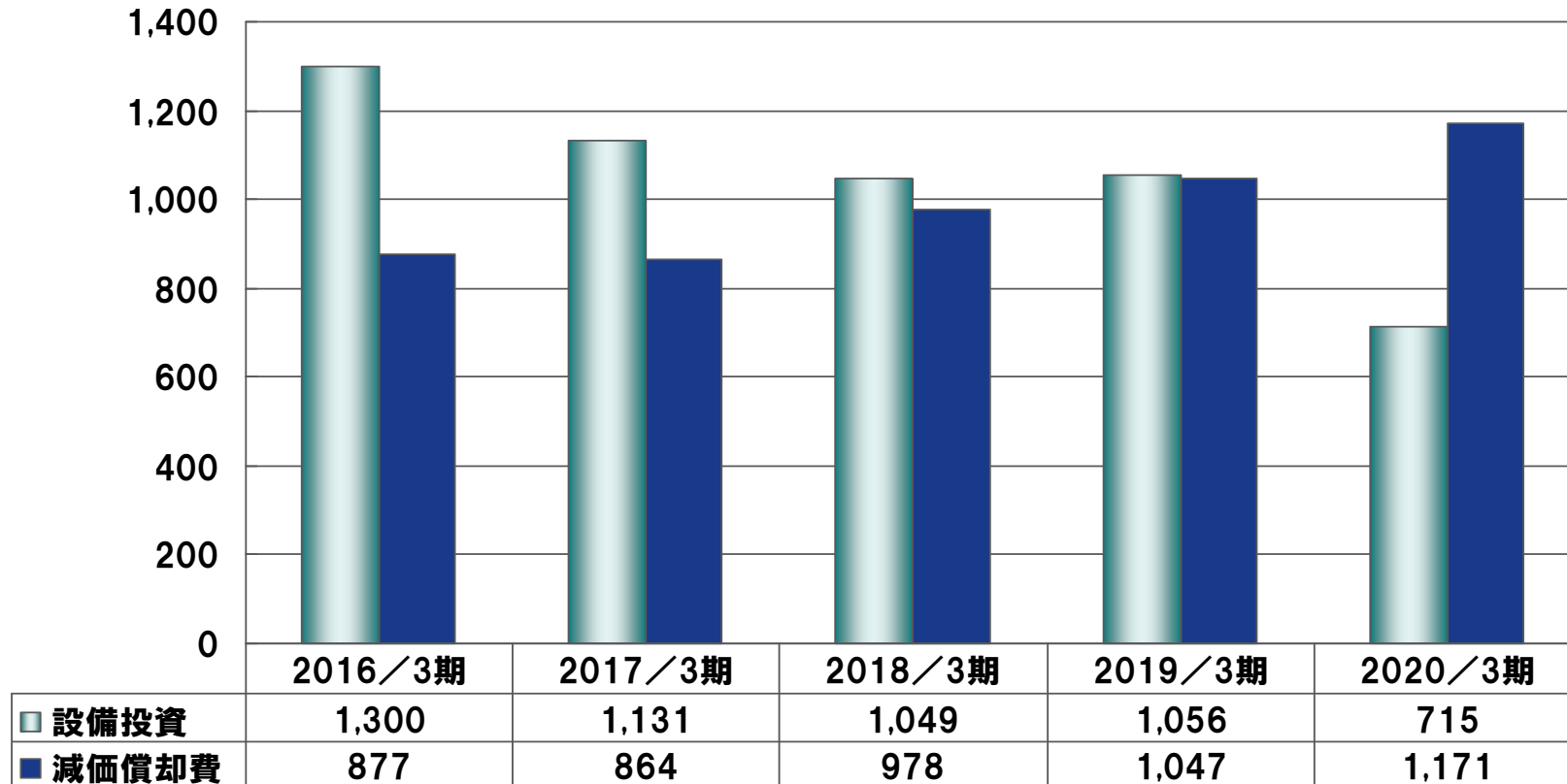
(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	
営業活動によるCF	2,237	4,309	税金等調整前当期純利益 3,423百万円 減価償却費 1,804百万円 法人税等の支払額 △1,046百万円
投資活動によるCF	△1,454	△1,100	有形固定資産の取得による支出 △619百万円 無形固定資産の取得による支出 △461百万円
財務活動によるCF	△329	△1,308	短期借入金の純増減額 △668百万円 配当金の支払額 △416百万円
期末現金残高	7,527	9,105	

# 設備投資・減価償却費の推移



(単位：百万円)



注) 上記、設備投資額及び減価償却費は有形固定資産に対するもののみ集計しております

2016年3月期はベトナム工場新設のため、設備投資が増加。



## 株主還元



- 2020年3月期は中間配当10円、期末配当10円、年間配当20円を予定（配当性向26.0%）
- 2021年3月期の配当予想は、現時点で業績予想が困難なため未定

## 2. 重点施策の成果

# 重点施策



**経営環境の変化に対応し、経営効率化と安定成長の実現のため、取り組んできた施策**

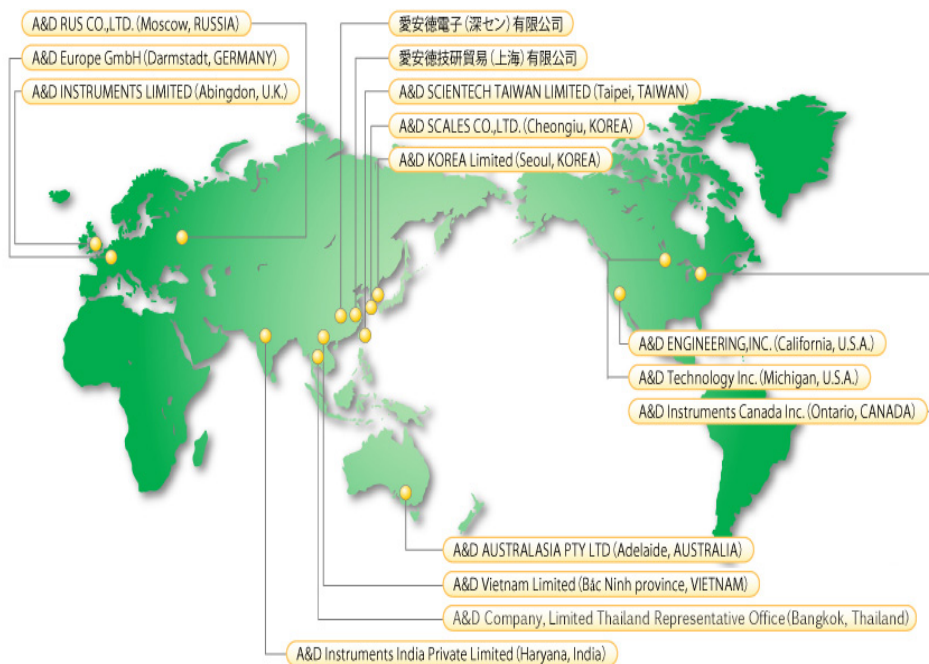
- **グローバルガバナンスの強化**
- **新規分野・次世代領域への研究開発投資**
- **グローバル調達によるコストダウン**
- **DSPシステムの受注活動の強化**
- **健康経営：お客様の健康な生活への貢献**

# グローバルガバナンスの強化



## 海外子会社の収益改善

- 現地経営体制の見直しと共有情報の充実による意思統一
- 個社毎の人的リソース最適配置を含めた経費削減



米国2社は大幅  
利益改善  
ロシアは引続き  
堅調

## 半導体、医療・健康機器分野での共同開発の推進

- (株) ホロンとの半導体フォトマスクの次世代向け測長機の共同開発
- (株) タニタとの業務提携による新領域（未病）参入およびクラウドへの対応



タニタアルゴリズム搭載  
A&D Connectシリーズの体組成計



グループ内および  
他社との協業による  
シナジーの追及

開発スピード向上

# グローバル調達によるコストダウン



## プロジェクトを編成し活動を推進

- 調達システムの改革によるコストダウン活動  
→調達ルート・方法の見直しのみならず、仕様・製造方法・材料の見直し等々
- 調達コスト以外の取組
  - ・生産拠点見直しによる外注生産製品の一部内製化
  - ・自社倉庫の有効活用と外部倉庫の削減による外部流出費の抑制
  - ・製造ライン自動化と内製治具・新規設備導入による省人・省力化



**コスト削減と  
生産性の向上**

# DSPシステムの受注活動の強化



## 期前半は苦戦するも後半は巻返し、結果大幅受注増

- 前半のユーザ発注時期ズレの影響で2020年3月期に寄与する受注の減少で目標未達
- 前半の期ズレを後半取込、結果期末受注残が例年を大幅に上回る



2020年3月期末  
DSP受注残

前年比50.4%増

# 健康経営への取り組み



「健康経営優良法人2020」に認定されました

**お客様の健康な生活への貢献には、  
全社員が心身ともに健康であることが重要**



## 直近の取り組み

- ・ 社員の血圧値改善を目指して社内に血圧計を設置、社員食堂では減塩の取り組みも開始
- ・ 保健師による健康コラム配信、健康相談等を開始
- ・ ウィメンズヘルスセミナー開催  
女性特有の健康課題への対応として子宮頸がん・乳がんをテーマにセミナー実施



※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です



## 3. 2021年3月期重点課題

## 社会的価値観と産業構造の変化への対応は急務

新型コロナウイルス感染拡大の収束後、変化は更に大きくかつ加速する

### ➤ 利益の確保

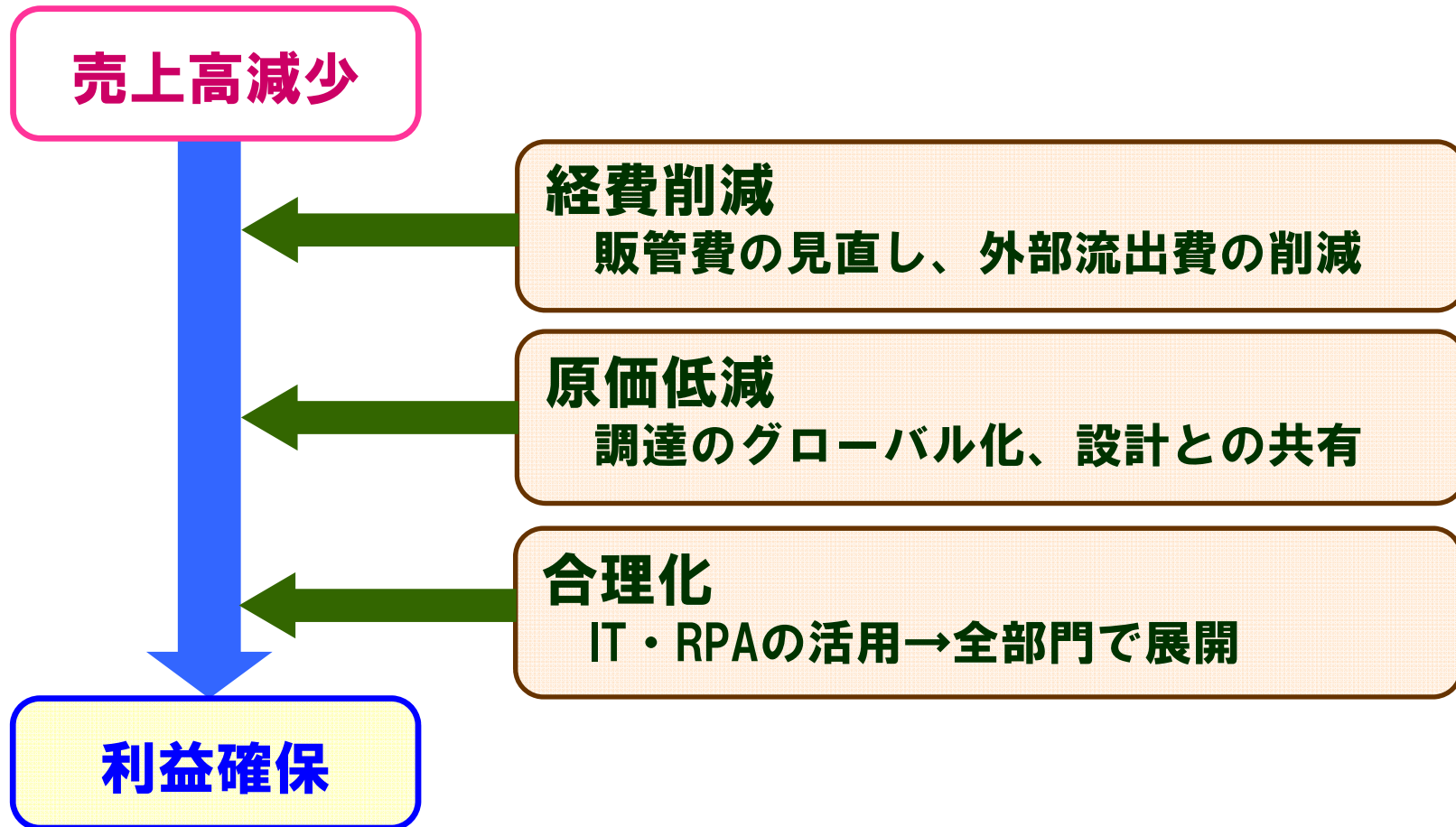
世界経済停滞により売上高減少は必至

### ➤ 開発投資の継続

次世代製品開発と新技術・新領域へ投資継続

# コロナ後を見据えて<利益の確保>

## 世界経済停滞により売上高減少が必至な環境下での利益確保



# コロナ後を見据えて<開発投資の継続>



キーワードは「**リモート**」

5G・CASE・ICT・IoT・AI・RPA 技術革新への対応と連携への投資  
テレワーク推進による家庭内需要の変化と増加

	外部環境の変化	開発投資
医療・健康機器	グローバルに遠隔医療への動きが加速	血圧計・体重計・体温計のICT化へ投資
計測・計量機器	テレワーク向需要増加 (機器・データセンター) IoT・5G対応への投資が加速  自動車業界ではEV・自動運転への投資は継続	次世代半導体製造装置向け投資  エンジンベンチ・XILSへの投資継続

## 新製品の早期立上げと注力製品の拡販

➤ 新製品・注力製品をターゲットマーケットへ投入、シェア獲得を目指す

計測・計量機器	データアキュイジション装置 オムニエース RA3100	高速・高精細記録、大容量・長時間レコーディング、厳しいノイズ環境でも波形を正確に測定 <b>2020年6月発売開始予定</b>
	X線検査機 AD-4991シリーズ	高感度異物検査で、製品の安全と安心をサポート スリムデザイン、サニタリー構造、X線の漏えい防止の安全設計
	マイクロ天秤 BMシリーズ	元素分析・質量分析などの前処理に、1μg～の高精度計量 無風イオナイザー標準装備【特許取得済】、パスワードによるロック機能
	引張試験機 RTHシリーズ	高精度型と標準精度型をラインアップ 低騒音(当社比40%ダウン)、スマートフォンへのデータ転送可能
医療・健康機器	上腕式ホースレス血圧計 UA-1200BLE	BLE(Bluetooth Low Energy)内蔵、本体とカフをつなぐホースがなくなりました 「A&D Medical CONNECT」で血圧測定をスマホで操作 <b>2020年3月25日発売</b>
	BLE内蔵血圧計 UA-651BLE	測定データは、Bluetooth通信可能なスマホ・タブレットに自動ワイヤレス送信、 対応のアプリでデータを簡単管理送信、対応のアプリでデータを簡単管理
	全自動血圧計 TM-2657	国内のみならず海外での販売が好調 医療機関のみならず薬局・スポーツ施設・公共機関・企業健康管理などへ拡販
	バリアフリースケール AD-6106R	運び易さがさらに進化:大型キャスターを採用した3Way走行で移動性はさらに 進化、ハニカム構造により軽量化を実現 <b>“業界最軽量製品”</b>

※製品写真は参考資料の事業内容を参照

**AND**  
Discover Precision

### **ご注意**

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。